

Legend Travel Award 2020 学会参加レポート

川崎医科大学 薬理学教室 北風圭介

この度は、Legend Travel Award 2020 の支援を賜り、2021 年 3 月 8 日から 10 日にかけて開催された第 94 回日本薬理学会年会に参加させていただきました。当初は 2020 年 3 月の第 93 回日本薬理学会年会に参加予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により誌上開催に変更となったため、支援の適用を 1 年間猶予していただきました。本年度は札幌での on-site と、Zoom での remote によるハイブリット形式で開催されました。

私は小胞体ストレスと膵 β 細胞の関連について、“Transcription factor ATF4 maintains pancreatic β -cell identity during ER stress” というタイトルで英語での口頭発表をおこないました。ATF4 は小胞体ストレス応答における重要な転写因子ですが、膵 β 細胞における ATF4 の役割についてはよく分かっていませんでした。我々は、ATF4 発現を亢進する化合物の抗糖尿病効果を示しました。また、 β 細胞特異的 *Atf4* ノックアウトマウスでは、膵 β 細胞が脱分化し、糖尿病が悪化することを示しました。さらに ATF4 の下流因子として脱分化を制御する転写因子を同定し、膵 β 細胞の維持に寄与していることを明らかにしました。これらの結果から糖尿病の治療や予防に有望なアプローチを示すことができました。発表では、remote で参加されていた座長の先生方の音声が入切れる等のトラブルもありましたが、年会優秀発表賞 (Young Investigator Award) を受賞できました。

シンポジウムでは、COVID-19 の治療薬開発や治療候補薬の安全性評価などのタイムリーな研究をはじめ、創薬を指向した探索研究や応用研究に関する講演を数多く拝聴することができました。また、現在の教室では線維症の研究も行っているため、肺疾患や腎疾患に関して、今後の研究の参考になる情報を得ることが出来ました。ポスター発表はオンデマンドでの PDF 閲覧に加え、Zoom のブレイクアウトルームを利用した少人数での討論が行われ、じっくりと発表者と意見交換することができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。今回の学会で得られた経験を活かし、今後も研究活動に精進してまいります。

最後になりましたが、今回の学会参加にあたりご支援をいただきました BioLegend 社様ならびに Tomy Digital Biology 社様に厚く御礼申し上げます。